



2025年12月期
第2四半期（中間期）決算説明会資料

1. 2025年12月期第2四半期（中間期）業績 P. 2 ~
2. 2025年12月期業績予想 P. 11 ~
3. 2025年中期経営計画トピックス P. 18 ~
4. 参考資料 P. 27 ~

2025年12月期第 2 四半期(中間期)業績

事業環境

- 米国の関税政策およびウクライナ紛争等の地政学リスクによる世界経済の減速懸念が強まる。
- 米国は堅調を維持、中国はデフレ圧力が継続、欧州は低成長であった。
- 日本は、雇用環境の改善、インバウンド需要の回復により、緩やかに景気は持ち直したが、物価高によって勢いが弱まった。

2025年12月期中間決算概況

- 基幹化学品は、全般的に販売数量が減少。アクリル酸エステルの海外市況は低迷継続。
- AI向け需要は旺盛であったが、その他の需要の回復が遅れ、高純度無機製品の販売数量は減少。
- 環境インフラシステムはインフラ老朽化対策製品の増販および販売価格改定により、収益改善。
- 2025年中間期の売上高、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期比でマイナス。
- 2025年の年間配当金は65円/株を予定（中間配当 32.5円、期末配当 32.5円）。

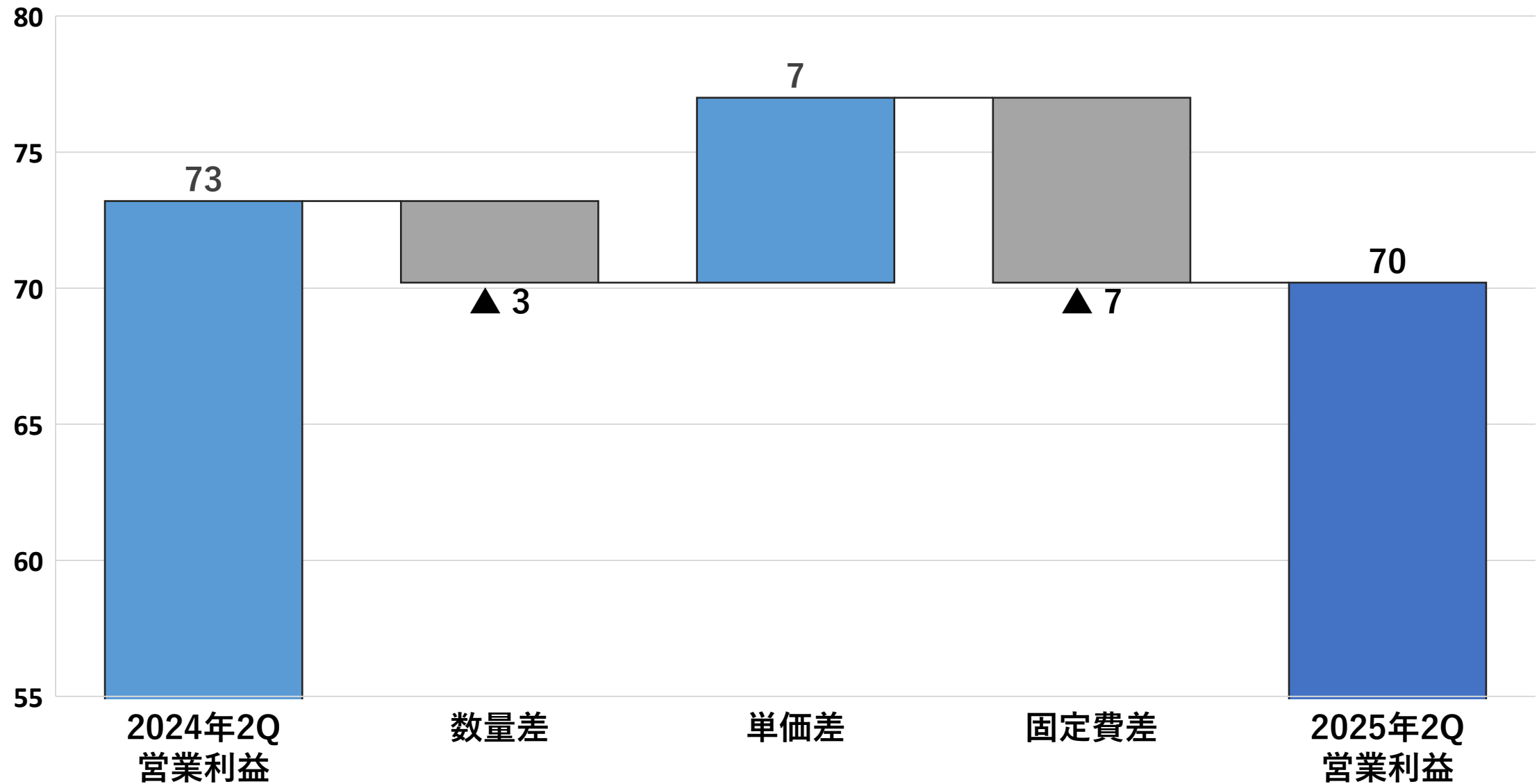
		2024年中間	2025年中間	増減	増減率
売上高	(百万円)	81,571	80,344	▲ 1,227	▲1.5%
営業利益	(百万円)	7,323	7,018	▲ 304	▲4.2%
営業利益率		9.0%	8.7%	▲0.3p	—
経常利益	(百万円)	8,758	7,497	▲1,260	▲14.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	(百万円)	7,041	5,715	▲ 1,325	▲18.8%
1株当たり当期純利益	(円)	61.52	51.76	▲ 9.76	▲15.9%
中間配当(年間)	(円)	30.0 (60.0)	32.5 (65.0)	2.5 (5.0)	+8.3% (+8.3%)

< 参 考 >

為替レート (期中平均)	(円/USD)	149.64	150.20
ナフサ価格 (期中平均)	(円 / kl)	75,750	69,850

※2025年にトウアゴウセイ・ケミカル・インディアを新たに設立したため、当連結会計年度から連結の範囲に含めております。
(連結子会社 21社、持分法適用会社 2社)

(億円)



連結業績（部門別）

（百万円）

売上高	2024年中間 A	2025年中間 B	数量差	単価差	増減 B－A
基幹化学品	38,374	36,180	▲ 1,883	▲ 311	▲ 2,194
ポリマー・オリゴマー	17,246	17,538	▲ 124	416	291
接着材料	6,591	6,761	58	111	169
高機能材料	5,080	5,013	▲ 121	54	▲ 66
樹脂加工製品	13,301	13,733	▲ 328	760	431
その他・調整額	975	1,117	142	0	142
合計	81,571	80,344	▲ 2,256	1,028	▲ 1,227

営業利益	2024年中間		2025年中間		増減
	営業利益	営業利益率	営業利益	営業利益率	
基幹化学品	4,192	10.9 %	4,681	12.9 %	488
ポリマー・オリゴマー	2,123	12.3 %	1,266	7.2 %	▲ 857
接着材料	232	3.5 %	263	3.9 %	31
高機能材料	586	11.5 %	459	9.2 %	▲ 127
樹脂加工製品	647	4.9 %	1,172	8.5 %	524
その他・調整額	▲ 459	—	▲ 823	—	▲ 364
合計	7,323	9.0 %	7,018	8.7 %	▲ 304

連結業績（部門別）

（百万円）

会社名	部門	持分 (%)	売上高		営業利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
			24年中間	25年中間	24年中間	25年中間	24年中間	25年中間
1 東亜テクノガス	基幹化学品	100	2,306	2,134	446	312	322	232
2 トウアゴウセイ・シンガポール	↓	100	1,847	1,960	▲247	▲133	▲153	▲71
3 MTアクアポリマー	ポリマー・オリゴマー	90	6,150	6,467	287	213	215	140
4 台湾東亜合成	↓	100	1,065	1,240	131	188	113	147
5 東昌化学	↓	51	935	1,067	89	43	59	43
6 東亜合成（張家港）	↓	100	903	885	69	16	58	23
7 東亜合成（上海）	↓	100	325	432	▲115	▲80	▲142	▲53
8 トウアゴウセイ・タイランド	↓	100	1,618	1,282	274	132	240	115
9 トウアゴウセイ・ベトナム	↓	100	—	85	▲1	▲15	▲1	▲19
10 トウアゴウセイ・アメリカ	接着材料	100	1,275	1,303	▲99	▲302	4	▲197
11 トウアゴウセイ・ケミカル・インディア (2025.3設立)	↓	100	—	—	—	▲14	—	▲14
12 東亜合成香港	↓	100	132	145	2	6	3	7
13 東亜合成（珠海）	↓	100	286	275	▲47	▲23	▲49	▲25
14 アロン化成	樹脂加工	100	12,500	12,791	705	1,076	477	821
15 アロンカセイ・タイランド	↓	100	392	543	▲57	81	▲88	15
16 TGコーポレーション	その他	100	740	783	227	229	160	164

上記各社は連結消去前の数値を記載しています。

※トウアゴウセイ・アメリカ：2025年中間は、営業外損益に持分法による投資利益117百万円を計上（2024年中間は95百万円を計上）

連結損益計算書（営業外損益・特別損益）



（百万円）

営業外損益	2024年 中間	2025年 中間	増減
受取利息・配当金	1,056	826	▲230
持分法による投資利益	125	90	▲35
為替差益	382	—	▲382
固定資産賃貸料	58	9	▲48
その他	67	82	15
支払利息	▲73	▲83	▲10
為替差損	—	▲318	▲318
環境整備費	▲118	▲80	38
遊休設備費	▲6	▲3	▲2
その他	▲56	▲44	12
合計	1,435	479	▲955

持分法利益 (内訳)	2024年 中間	2025年 中間	差異
エルマーズ・トウゴウエイ	95	117	22
中部液酸	30	▲26	▲57
合 計	125	90	▲35

（百万円）

特別損益	2024年 中間	2025年 中間	増減
固定資産売却益	7	—	▲7
投資有価証券売却益	1,465	1,187	▲277
補助金収入	71	46	▲25
固定資産処分損	▲607	▲581	26
災害による損失（※）	▲43	▲50	▲6
投資有価証券評価損	—	▲182	▲182
圧縮未決算 特別勘定繰入額	—	▲40	▲40
合計	892	379	▲513

※能登半島沖地震復興費用

為替レート	2024年 6月末	2024年 12月末	2025年 6月末
円 / USD	161.07	158.18	144.81
円 / THB	4.36	4.64	4.44

連結貸借対照表

(百万円)

	2024年12月末	2025年6月末	増 減
流 動 資 産	122,750	109,339	▲13,410
現預金・有価証券 ①	41,821	31,623	▲10,197
受取手形・売掛金	42,359	37,908	▲4,450
電子記録債権	9,860	10,107	247
棚卸資産	24,734	25,662	927
その他	4,026	4,087	60
貸倒引当金	▲52	▲50	2
固 定 資 産	155,270	160,498	5,228
有形固定資産 ②	111,851	118,025	6,174
無形固定資産	1,666	1,533	▲133
投資有価証券 ③	34,023	33,259	▲763
その他固定資産	7,728	7,679	▲49
資 産 合 計	278,020	269,837	▲8,182

- ①設備投資・自己株式取得により減少（有価証券は譲渡性預金）
 ②設備投資により増加
 ③政策保有株売却、保有株の株価下落により減少

	2024年12月末	2025年6月末	増 減
負 債 合 計	64,352	59,194	▲ 5,158
支払手形・買掛金	18,740	17,730	▲ 1,010
借入金	11,044	11,007	▲ 36
未払法人税等	2,762	2,220	▲ 542
その他負債合計	31,804	28,236	▲ 3,568

純 資 産 合 計	213,668	210,643	▲ 3,024
株主資本	191,551	189,938	▲ 1,613
その他の包括利益 累計額	21,034	19,607	▲ 1,427
非支配株主持分	1,082	1,097	15
負 債 ・ 純 資 産 合 計	278,020	269,837	▲ 8,182

自己資本比率	76.5%	77.7%	1.2p
--------	-------	-------	------

連結キャッシュフロー計算書

(百万円)

		2024年中間	2025年中間	増減
営業キャッシュ・フロー	A	14,255	16,678	2,423
投資キャッシュ・フロー	B	▲10,062	▲17,313	▲7,251
フリー・キャッシュ・フロー	C=A+B	4,192	▲634	▲4,827
財務キャッシュ・フロー	D	▲8,990	▲8,712	277
現金及び現金同等物に係る 換算差額	E	836	▲551	▲1,387
現金及び現金同等物の増減額	F=C+D+E	▲3,961	▲9,898	▲5,937

現金及び現金同等物の期末残高	G	43,675	30,534	▲13,140
----------------	---	--------	--------	---------

2025年12月期業績予想

事業環境

- 米国の関税政策およびウクライナ紛争等の地政学リスクによる世界経済の減速懸念が継続。
- 為替、金利、資源価格、各国の政治動向など、先行きは不透明感が強い。
- 日本では、雇用の改善、賃上げ等により、景気回復は維持するものの、物価上昇への懸念、米国の関税政策等により、下振れリスクが高まっている。

2025年下期の課題

- 成長ドライバーであるモビリティ、半導体関連製品の収益拡大。
- 米国瞬間接着剤事業の体制見直しによる収益改善。アジアの拠点を起点とした海外売上拡大。
- 研究開発の推進による新規開発品の早期実績化。
- PBR 1 倍超えに向けた経営の推進継続。

2025年12月期 連結業績予想（前年同期比）



（百万円）

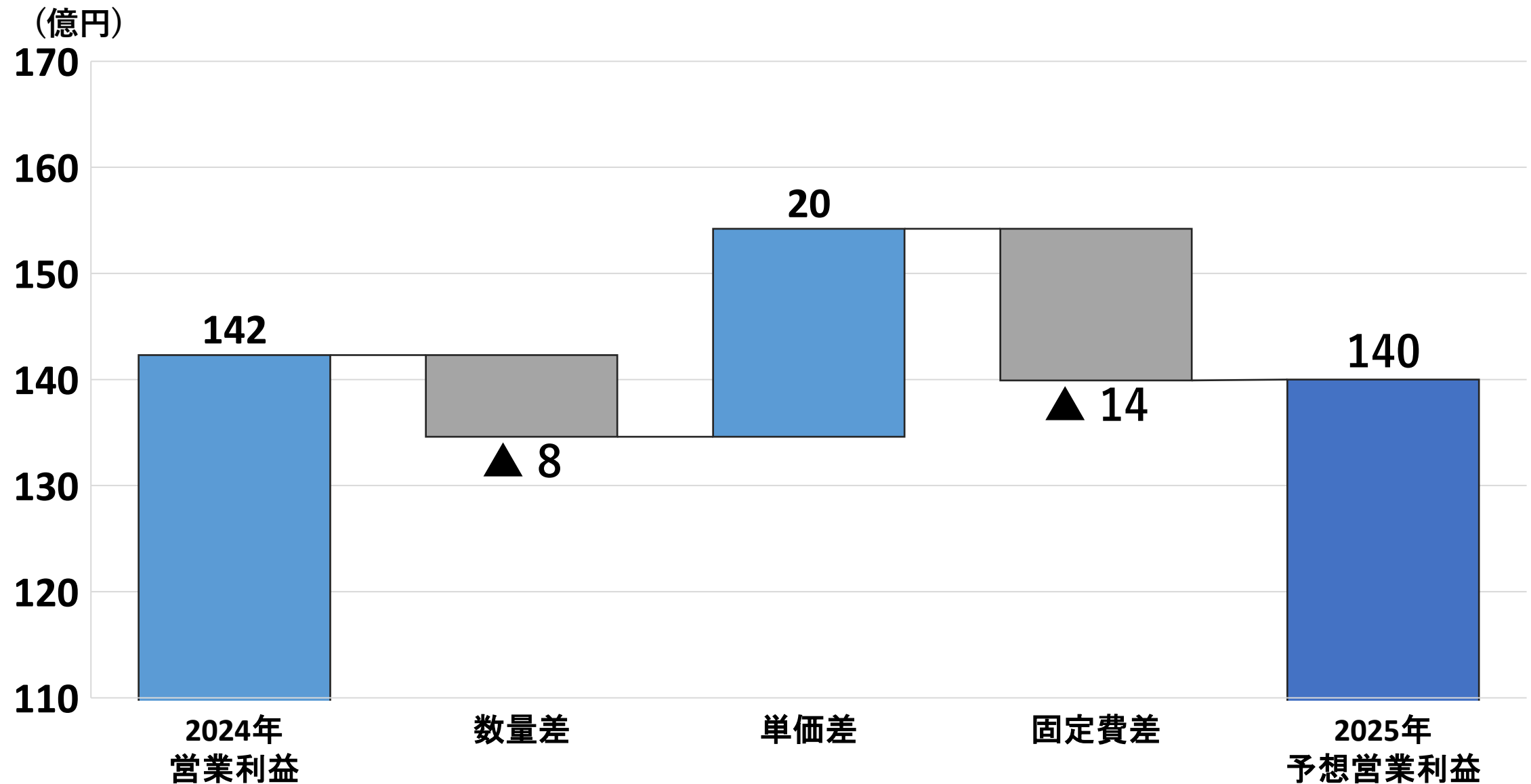
	2024年実績			2025年予想 （2025年7月31日発表）			増減 （B-A）
	上期	下期	年間 （A）	上期 実績	下期 予想	年間 （B）	
売上高	81,571	86,023	167,594	80,344	82,156	162,500	▲5,094
営業利益	7,323	6,911	14,233	7,018	6,982	14,000	▲233
営業利益率	9.0%	8.0%	8.5%	8.7%	8.5%	8.6%	0.1P
営業外損益	1,435	324	1,759	479	321	800	▲959
経常利益	8,758	7,235	15,993	7,497	7,303	14,800	▲1,193
特別損益	892	▲333	559	379	1,671	2,050	1,490
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,041	4,836	11,877	5,715	6,485	12,200	323
配当（円）	30.0	30.0	60.0	32.5	32.5	65.0	5.0

< 参考 >

		2024年実績	2025年予想 （2025年7月31日発表）
為替レート（期中平均）	（円/USD）	150.70	146.00
ナフサ価格（期中平均）	（円 / kℓ）	75,400	65,600

※ナフサkℓ当たり1千円の変動で±300百万円。為替：1円/USDの円安で▲100百万円。

予想営業利益増減分析

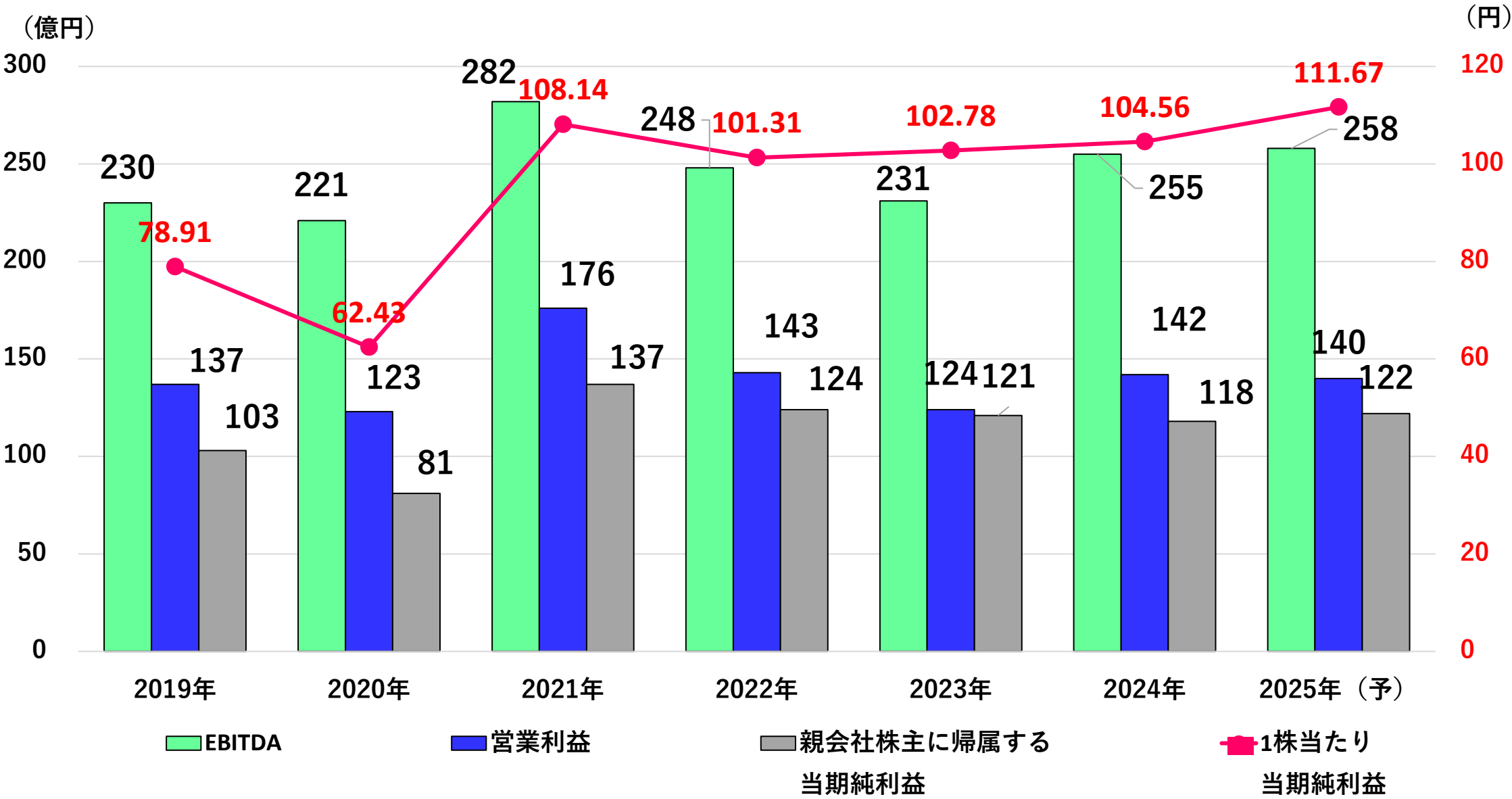


(百万円)

売上高	2024年 実績			2025年 予想 (2025年7月31日発表)			増減
	上期	下期	年間	上期	下期	年間	
基幹化学品	38,374	40,770	79,145	36,180	35,319	71,500	▲ 7,645
ポリマー・オリゴマー	17,246	17,940	35,187	17,538	18,561	36,100	913
接着材料	6,591	6,752	13,344	6,761	7,238	14,000	656
高機能材料	5,080	5,115	10,196	5,013	5,286	10,300	104
樹脂加工製品	13,301	14,400	27,702	13,733	14,866	28,600	898
その他・調整額	975	1,043	2,018	1,117	882	2,000	▲ 18
合 計	81,571	86,023	167,594	80,344	82,156	162,500	▲ 5,094

(百万円)

営業利益	2024年 実績				2025年予想 (2025年7月31日発表)				増減
	上期	下期	年間	率	上期	下期	年間	率	
基幹化学品	4,192	4,309	8,501	10.7%	4,681	3,918	8,600	12.0%	99
ポリマー・オリゴマー	2,123	1,656	3,779	10.7%	1,266	1,933	3,200	8.9%	▲ 579
接着材料	232	176	409	3.1%	263	236	500	3.6%	91
高機能材料	586	688	1,275	12.5%	459	490	950	9.2%	▲ 325
樹脂加工製品	647	1,113	1,761	6.4%	1,172	1,427	2,600	9.1%	839
その他・調整額	▲459	▲ 1,034	▲1,493	—	▲ 823	▲ 1,026	▲ 1,850	—	▲ 357
合 計	7,323	6,910	14,233	8.5%	7,018	6,982	14,000	8.6%	▲ 233



株主還元推移

2023年～2025年計画
自己株取得200億円以上
期間総還元性向100%目途

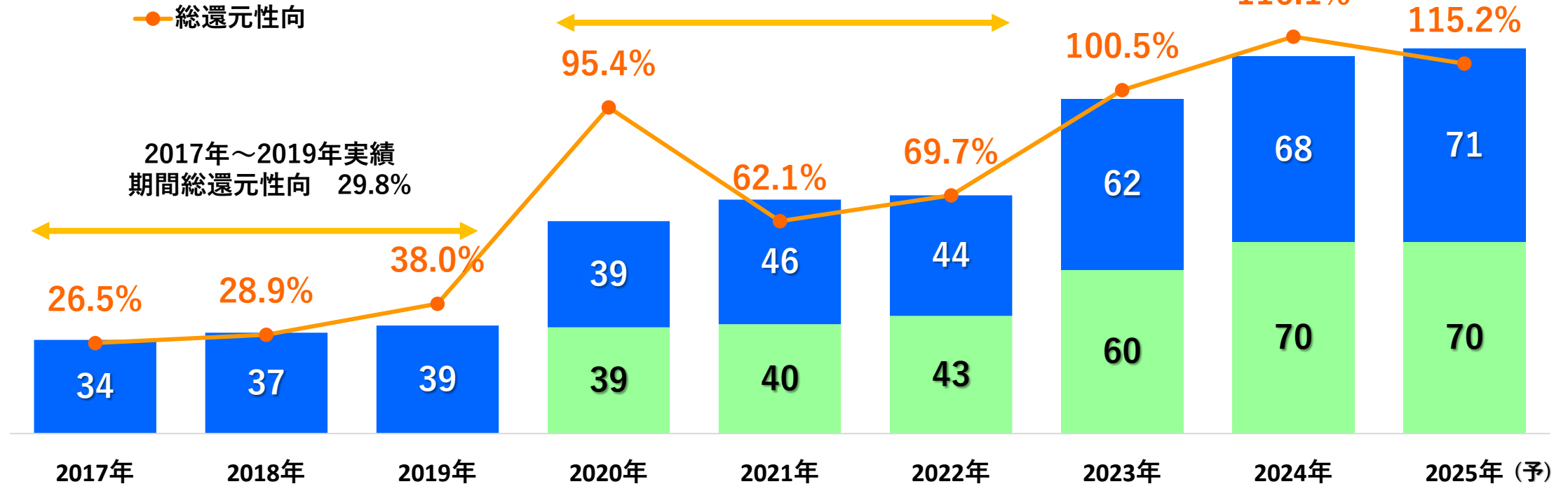
■ 自己株式取得（億円）

■ 配当（億円）

● 総還元性向

2020年～2022年実績
期間総還元性向 71.9%

2017年～2019年実績
期間総還元性向 29.8%



2025年中期経営計画 トピックス

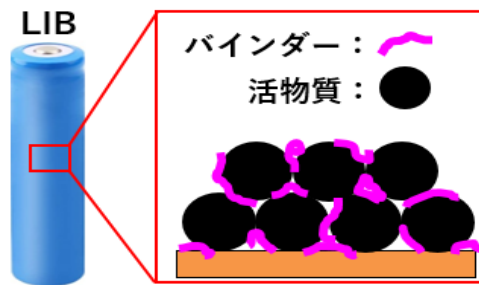
1. 成長戦略

- (1) 成長ドライバー
- (2) 収益力の強化・拡大
- (3) トピックス

2. 財務・資本戦略

リチウムイオン電池用バインダー

負極の膨張抑制による電池の長寿命化。
EV車向けに加え、民生用途※への採用も拡大。
※データセンター向け、ドローン、スマートフォン、電動工具用など



車載電池用接着剤（ハイブリッド車・燃料電池車）

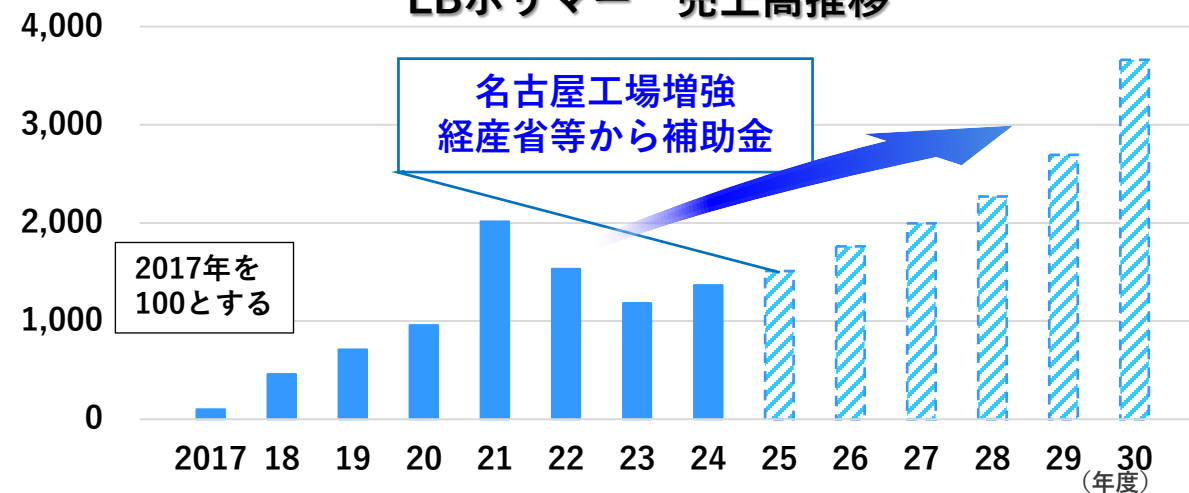
バイポーラ型ニッケル水素電池を搭載している新型HV車に順次採用中。
燃料電池車（MIRAI、クラウンなど）にも採用。
次世代電池向けの開発を推進中。

搭載車種

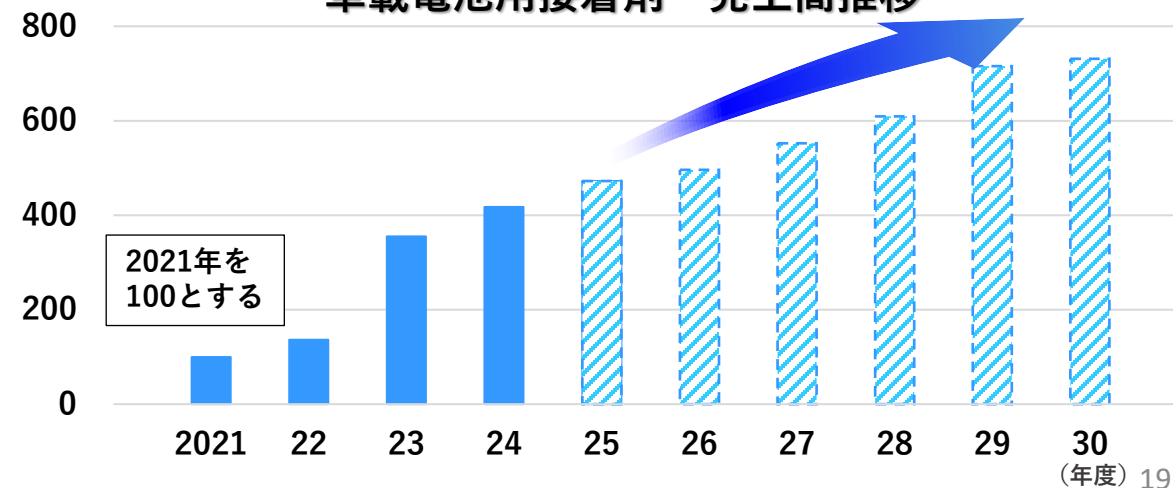
MIRAI
アクア
クラウン
LEXUS RX
アルファード
ヴェルファイア
など



LBポリマー 売上高推移



車載電池用接着剤 売上高推移



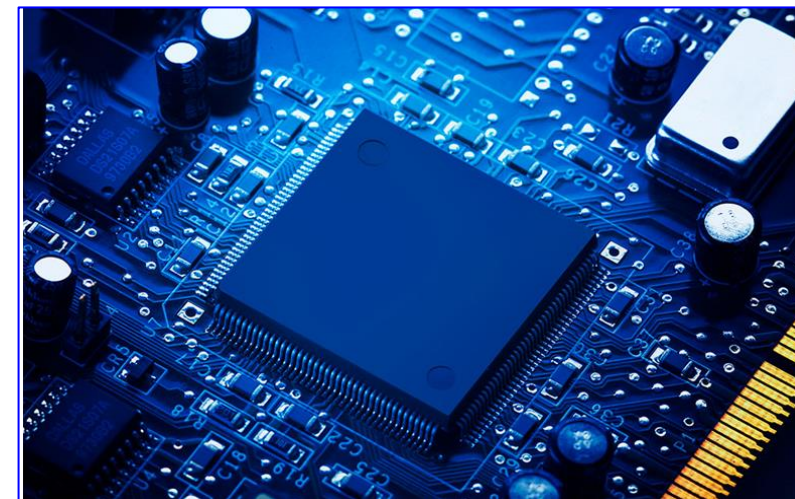
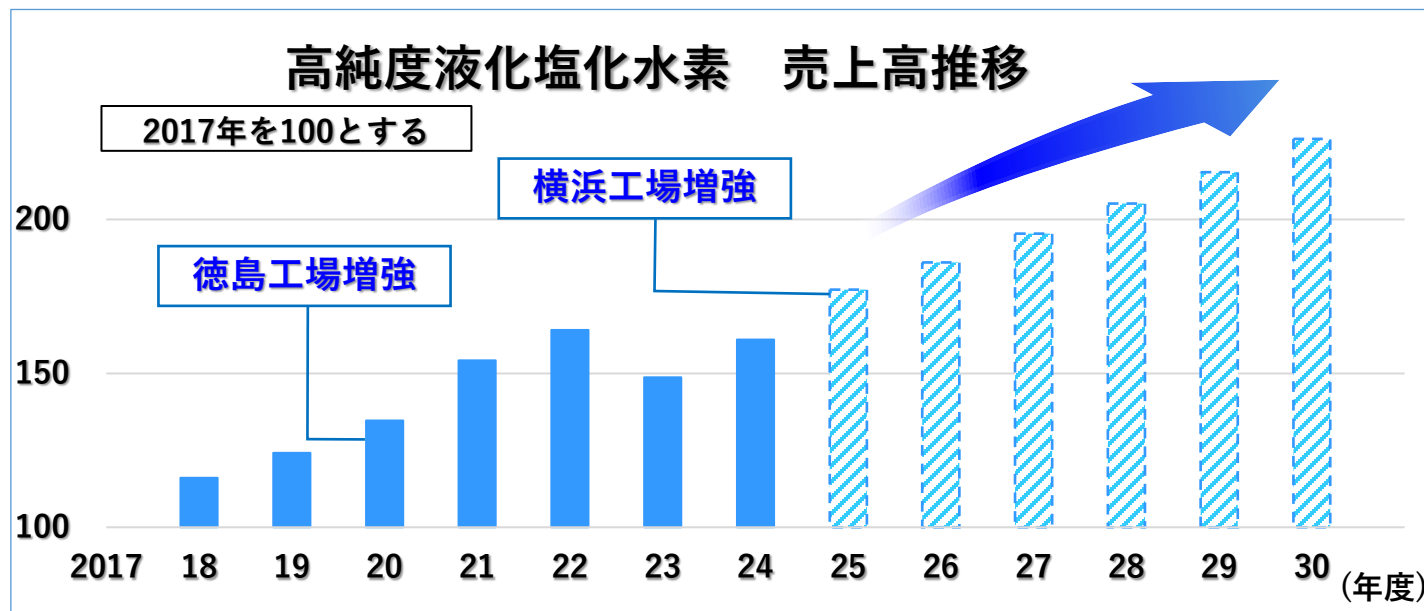
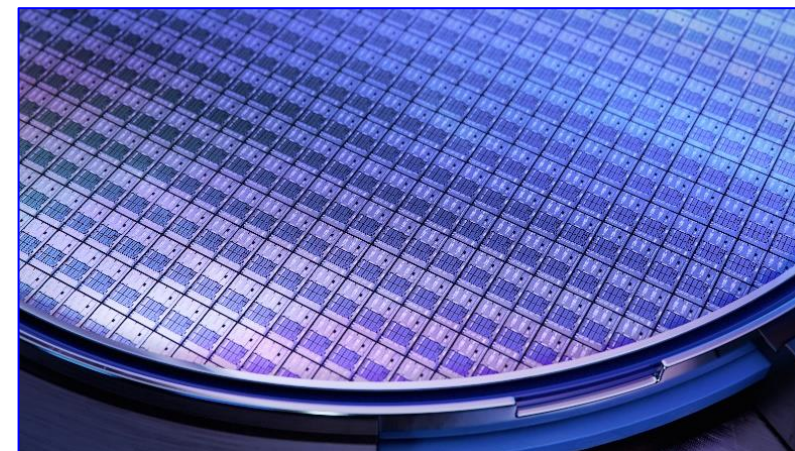
高純度液化塩化水素 (世界シェアNo.1)

AI向け半導体がけん引し、出荷数量が回復傾向。

高純度カセイカリ

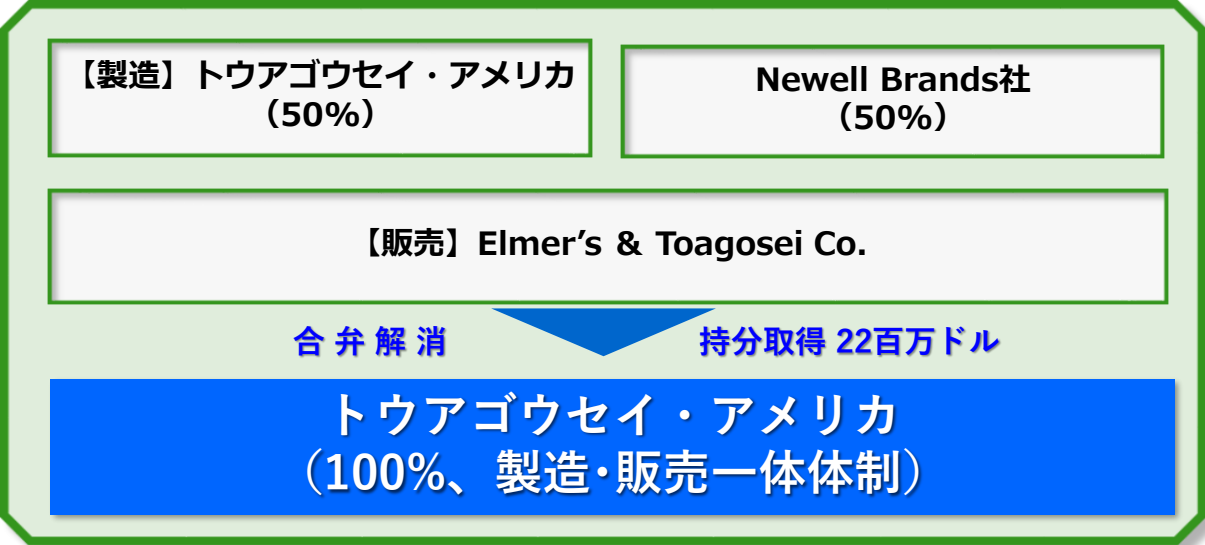
高機能CMP用アクリルポリマー

CMPメーカー向け好調。



米国JV体制見直し

- ・ 近年、競合の台頭により、Krazy Glue シェアダウン
- ・ 接着材料事業は重要事業、米国事業は海外販売比率向上の要



合併を解消し、東亜合成グループ単独運営へ

- ・ 迅速かつ柔軟な事業運営体制確立
- ・ シェア拡大による収益改善を目指す



(参考) 2024年12月期

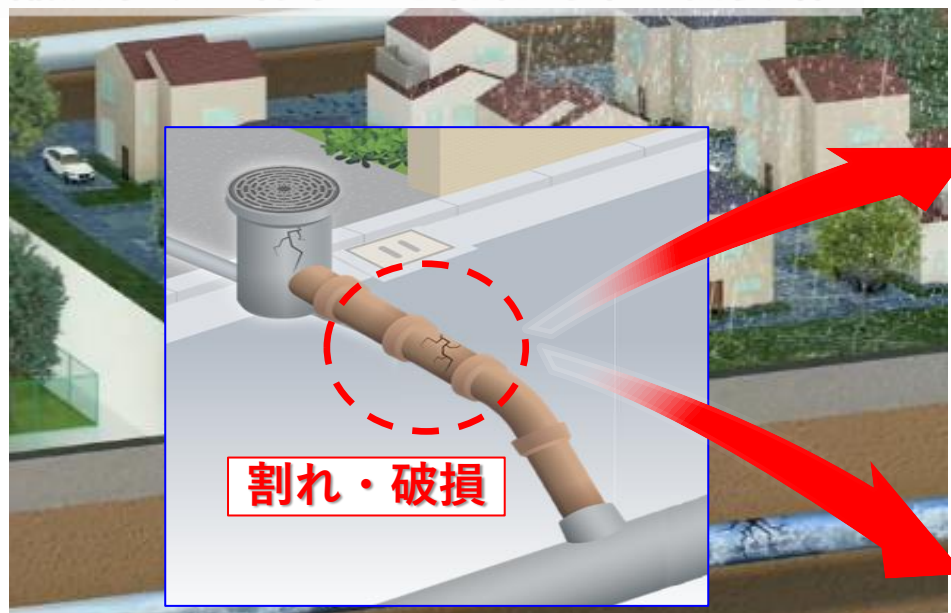
(百万円)

セグメント	売上高	純利益
トウアゴウセイ・アメリカ	2,489	▲113

※従来の持分50%のJV利益は204百万円。
単独運営（持分100%）となった場合は、
▲113 + 204 = 純利益91百万円となる。

「下水道老朽化」対策製品

陥没事故を背景に老朽化対策の需要増



- ・ 陥没事故2,600件/年
道路陥没の70%は取付管で発生。
⇒ 老朽化補修対策は急務



漏水個所に接合し補修



今後は下水道の管路調査・診断事業
への参入目指す

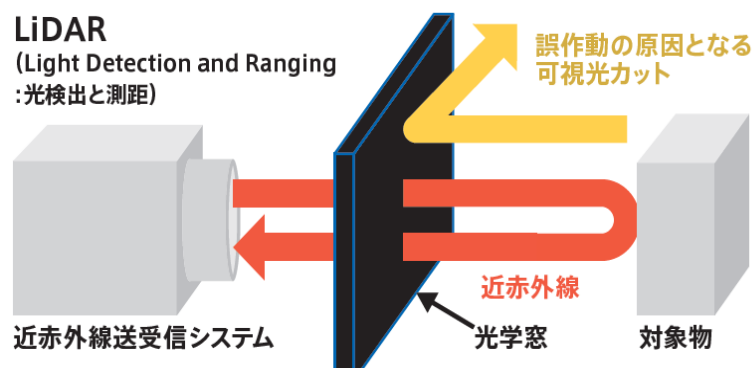


マッピングカメラで管路の補修箇所を解析
[下水道展'25大阪] (7月29日～8月4日)に出展

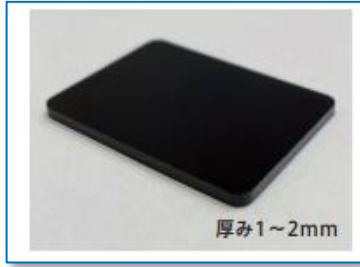
“塩ビ製マス・マンホール トップシェア”

ガラス代替樹脂「アロニックスシート」

→ “LiDAR用カバーシート”への採用



対象物へ近赤外線を照射
その反射光を検出し距離と形を測定



ガラスの長所（光学特性・耐熱性）
+
ガラスの短所（割れ易さ・重さ）を克服

LiDARを内蔵した製品（想定用途）



自動運転用のセンサーカバー



無人自動運転機能付き芝刈り機



ドローン

「アロニックスシート」の優位性

- ①光学性能：低位相差（正確な測定）
- ②耐久性：耐熱性（200℃以上でも高い弾性率）
高硬度（傷つきにくい）
- ③加工性：切削性（レーザーカッター適応）

ナノ医療イノベーションセンター（iCONM）と
siRNA医薬の共同研究を開始

- ・ iCONMと難治性がんに対するsiRNA治療薬の創製に関する共同研究契約を締結
(当社が持つ siRNAデザイン技術と iCONM の核酸医薬送達技術を融合)
- ・ 5 年以内の臨床試験開始を計画
→多くの難治疾患の治療、および新種のウイルスによるパンデミックを防ぐことにも繋がる。

※siRNAは特定の遺伝子の発現を抑える働きを持つ核酸の一種。標的の遺伝子を分解し病気の原因となるタンパク質の増殖を防ぐ。この機能を利用し、次世代医薬品としての研究開発が進んでいる。

メディカル分野
主なテーマごとの開発スケジュール

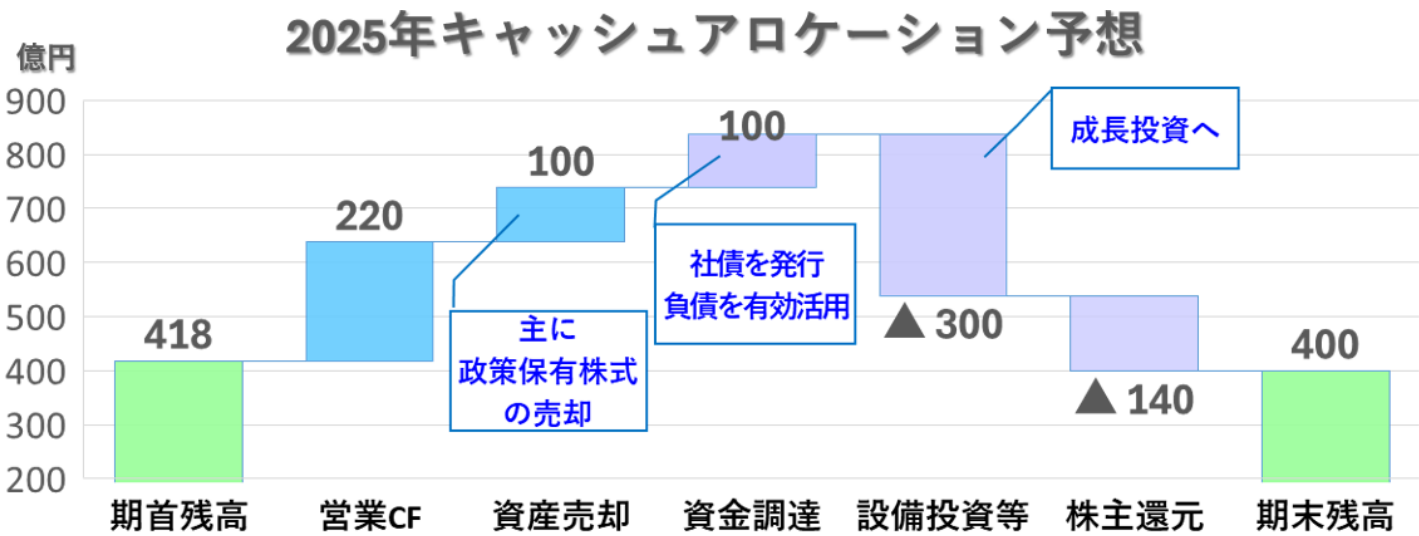
- ・ 「Nucleolaron」は、siRNAとして、あるいはDDSとして、多くの可能性を有している。
- ・ 大学等アカデミア、メガファーマ、ベンチャーと連携して共同研究開発を推進中。

主な テーマ	主な 対象疾患	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年
siRNA ※	難治性がん等	初期評価		非臨床		臨床
DDS	心臓病など (遺伝子治療や RNA医薬の送達)	初期 評価	非臨床	臨床		

社債発行の目的

24年振りに社債発行。信用力とプレミアム感により低利率（1.384%）

- ①将来成長に向けた投資資金として、社債発行
- ②資金調達手段の多様化により財務の安定を図る
- ③ ROE向上に向けた、財務レバレッジの活用



同時期に条件決定した社債						
発行会社	決定日	格付け	年限	発行額 (億円)	表面利率	対国債SP
当社	7/11	A	5	100	1.384%	37bp
A社	7/11	A	5	150	1.434%	42bp
B社	7/10	A+	5	200	1.418%	39bp
C社	7/10	A	5	100	1.528%	50bp
D社	6/11	A	5	200	1.413%	39bp
E社	6/11	A	5	150	1.453%	43bp
F社	6/11	A+	5	150	1.453%	43bp



地球はつづく、
化学でつなぐ！



- 業績予想には、本資料の発表日現在入手可能な情報に基づく予想が含まれております。実際の業績は、今後さまざまな変動要因により、上記数値と異なる可能性があります。
- 本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断で行われるようお願いいたします。

參考資料

	2024年 4-6月	2025年 4-6月	増減	増減率
売上高 (百万円)	42,556	40,522	▲2,034	▲4.8%
営業利益 (百万円)	3,771	3,655	▲116	▲3.1%
営業利益率	8.9%	9.0%	0.1P	—
経常利益 (百万円)	4,730	4,303	▲427	▲9.0%
親会社株主に帰属する当期 (または四半期)純利益 (百万円)	4,324	3,721	▲603	▲13.9%

連結業績（部門別）【第2四半期 会計期間】

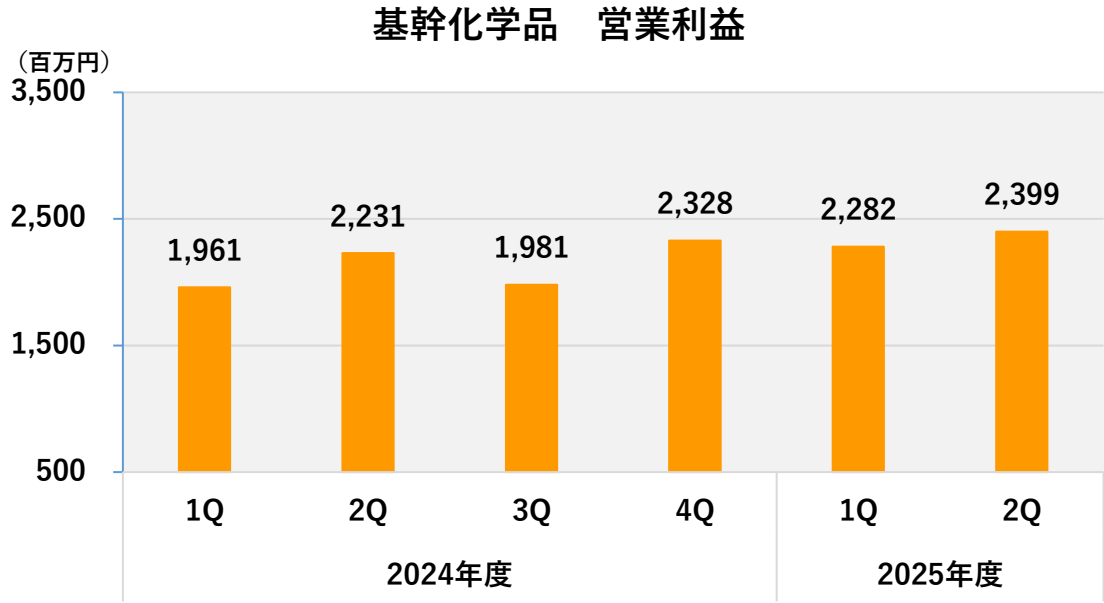
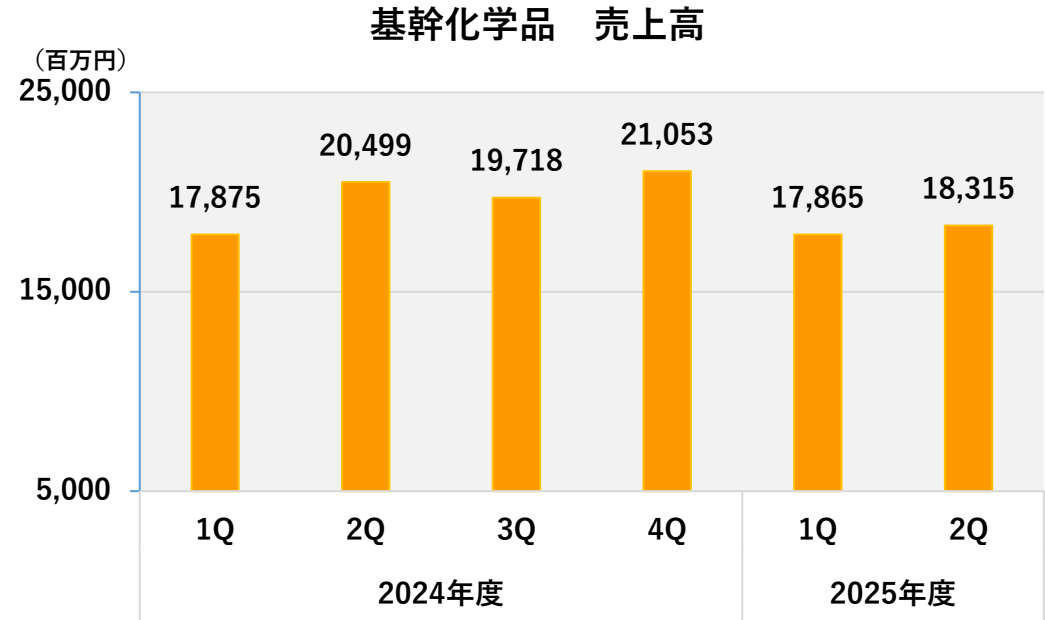
(百万円)

売上高	2024年4-6月	2025年4-6月	数量差	単価差	増減額
	A	B			B - A
基幹化学品	20,499	18,315	▲ 1,662	▲ 522	▲ 2,185
ポリマー・オリゴマー	8,723	8,727	▲ 208	214	4
接着材料	3,434	3,370	▲ 86	20	▲ 65
高機能材料	2,546	2,607	80	▲ 19	61
樹脂加工製品	6,836	6,910	▲ 408	481	74
その他・調整額	515	593	78	—	78
合 計	42,556	40,522	▲ 2,207	173	▲ 2,034

(百万円)

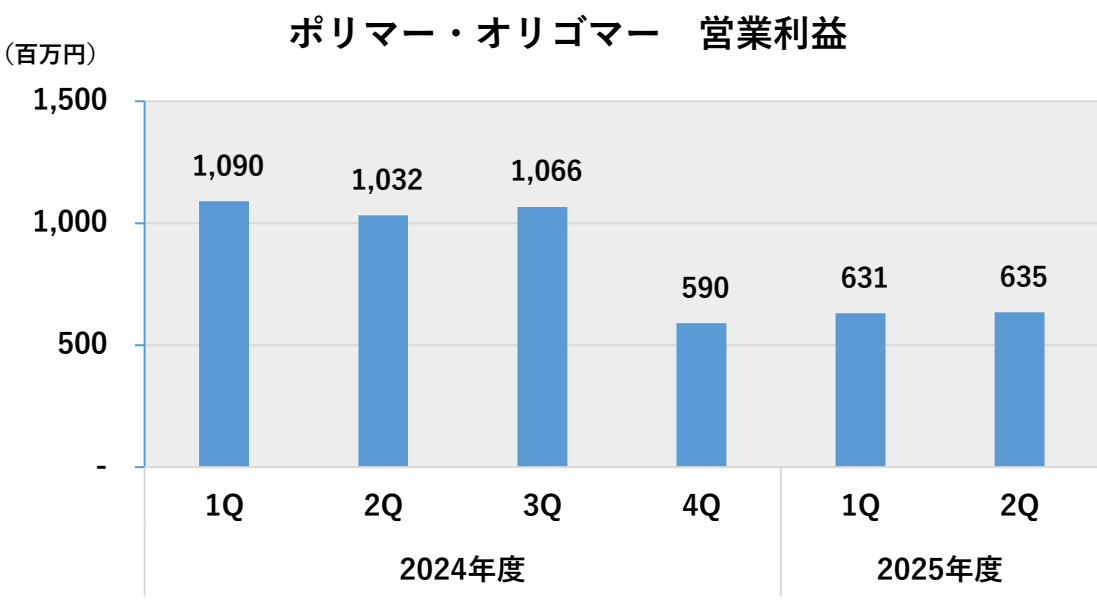
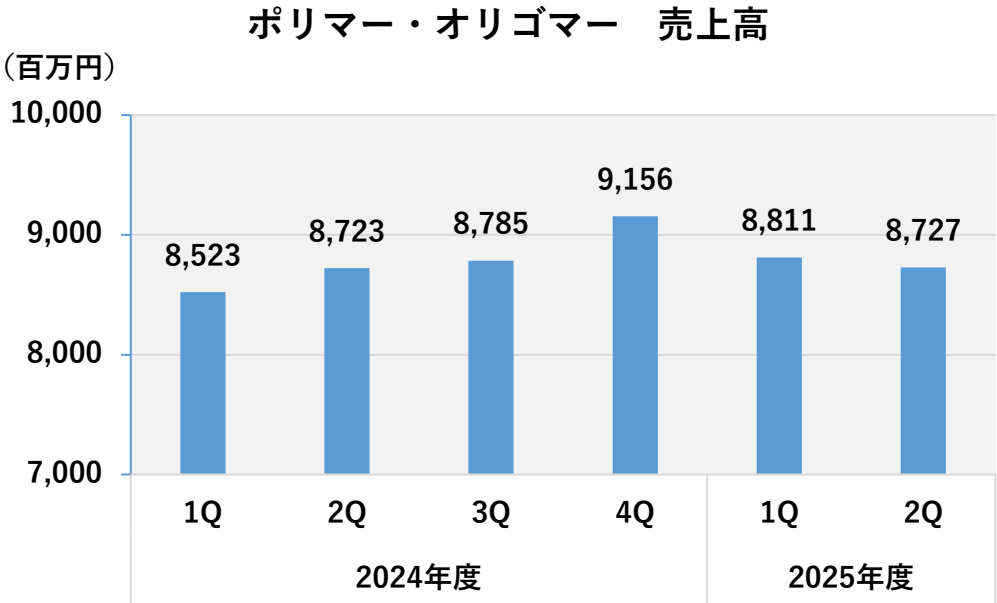
営業利益	2024年4-6月		2025年4-6月		増減
	営業利益	営業利益率	営業利益	営業利益率	
基幹化学品	2,231	10.9%	2,399	13.1%	167
ポリマー・オリゴマー	1,032	11.8%	635	7.3%	▲ 398
接着材料	155	4.5%	110	3.3%	▲ 44
高機能材料	284	11.2%	314	12.0%	29
樹脂加工製品	354	5.2%	671	9.7%	316
その他・調整額	▲287	—	▲ 472	—	▲ 187
合 計	3,771	8.9%	3,655	9.0%	▲ 116

基幹化学品事業 サブセグメント	売上増減率 (前年同期比)		売上高増減理由
	2025年 4-6月	2025年 1-6月	
無機化学品	98%	98%	昨年の増販分が減少し、減収
アクリルモノマー	76%	86%	一部製品の販売数量が減少し、減収
工業用ガス	89%	91%	製造会社のトラブルによる稼働停止による販売数量の減少により、減収



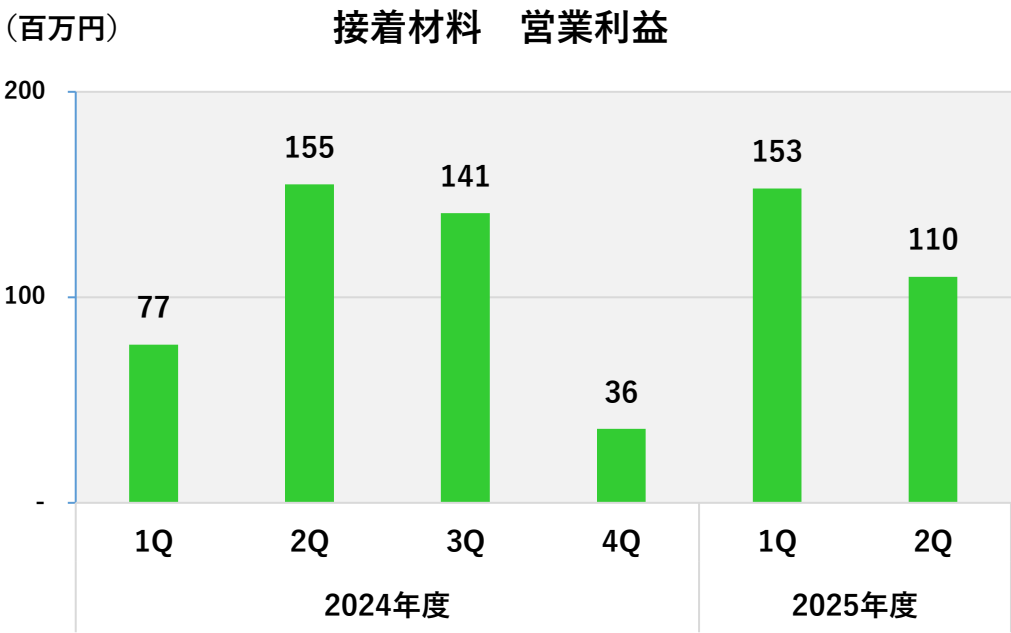
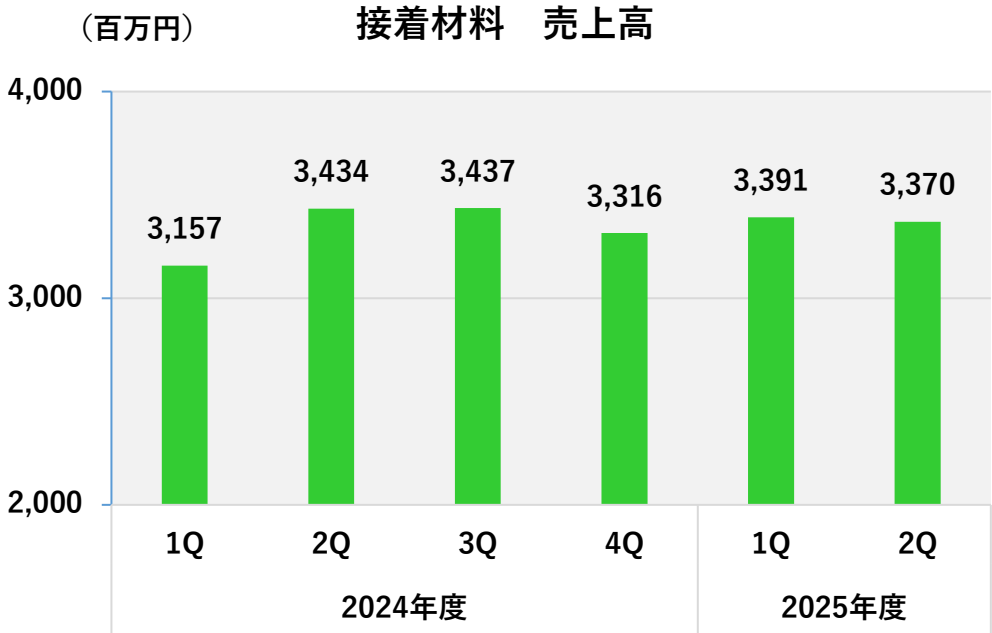
セグメント別参考資料 ポリマー・オリゴマー

ポリマー・オリゴマー事業 サブセグメント	売上増減率 (前年同期比)		売上高増減理由
	2025年 4-6月	2025年 1-6月	
ポリマー	100%	99%	全般的に販売数量が減少し、減収
オリゴマー	92%	101%	販売価格改定により、増収
凝集剤	107%	105%	海外向けの販売数量の増加により、増収



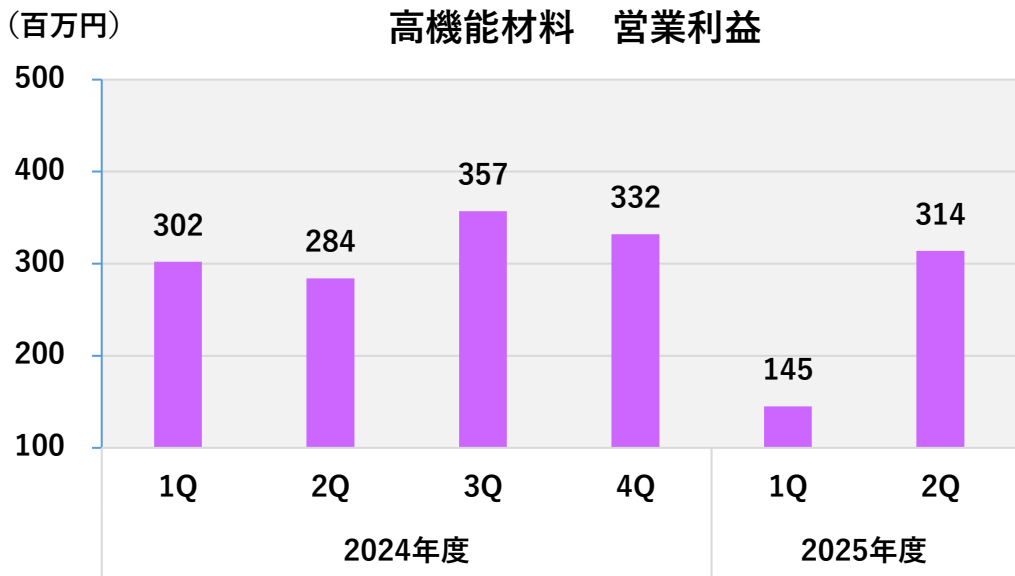
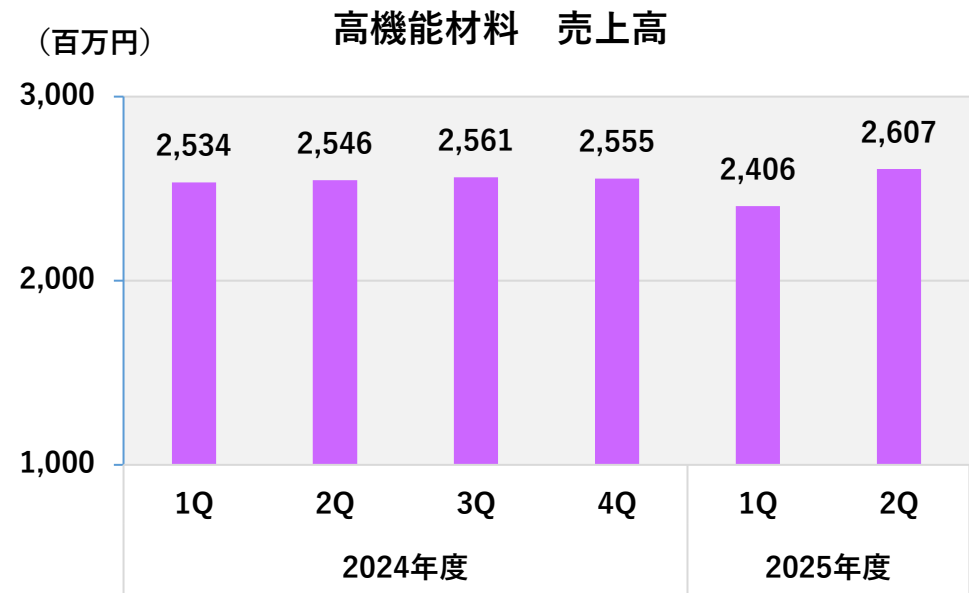
セグメント別参考資料 接着材料

接着材料事業 サブセグメント	売上増減率 (前年同期比)		売上高増減理由
	2025年 4-6月	2025年 1-6月	
瞬間接着剤	99%	103%	日本および米国での販売数量の増加と国内での販売価格改定により、増収
機能性接着剤	97%	102%	車載用部品向けやスマートフォン用部品向けの販売数量の増加により、増収

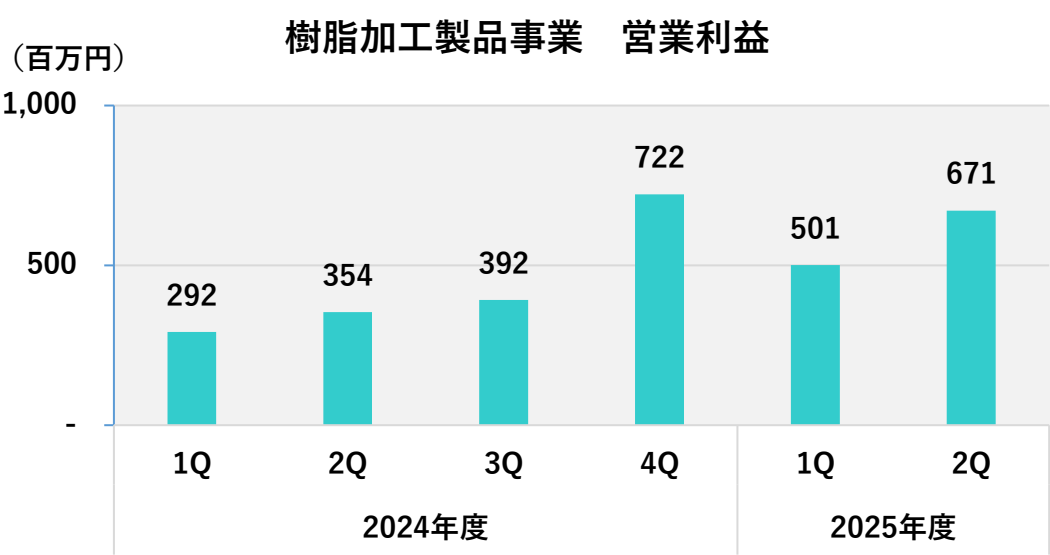
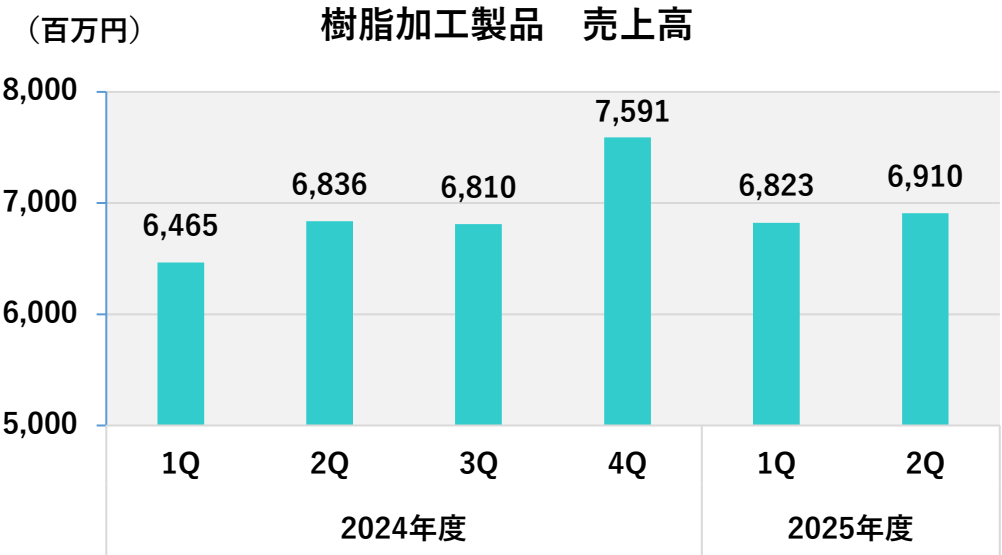


セグメント別参考資料 高機能材料

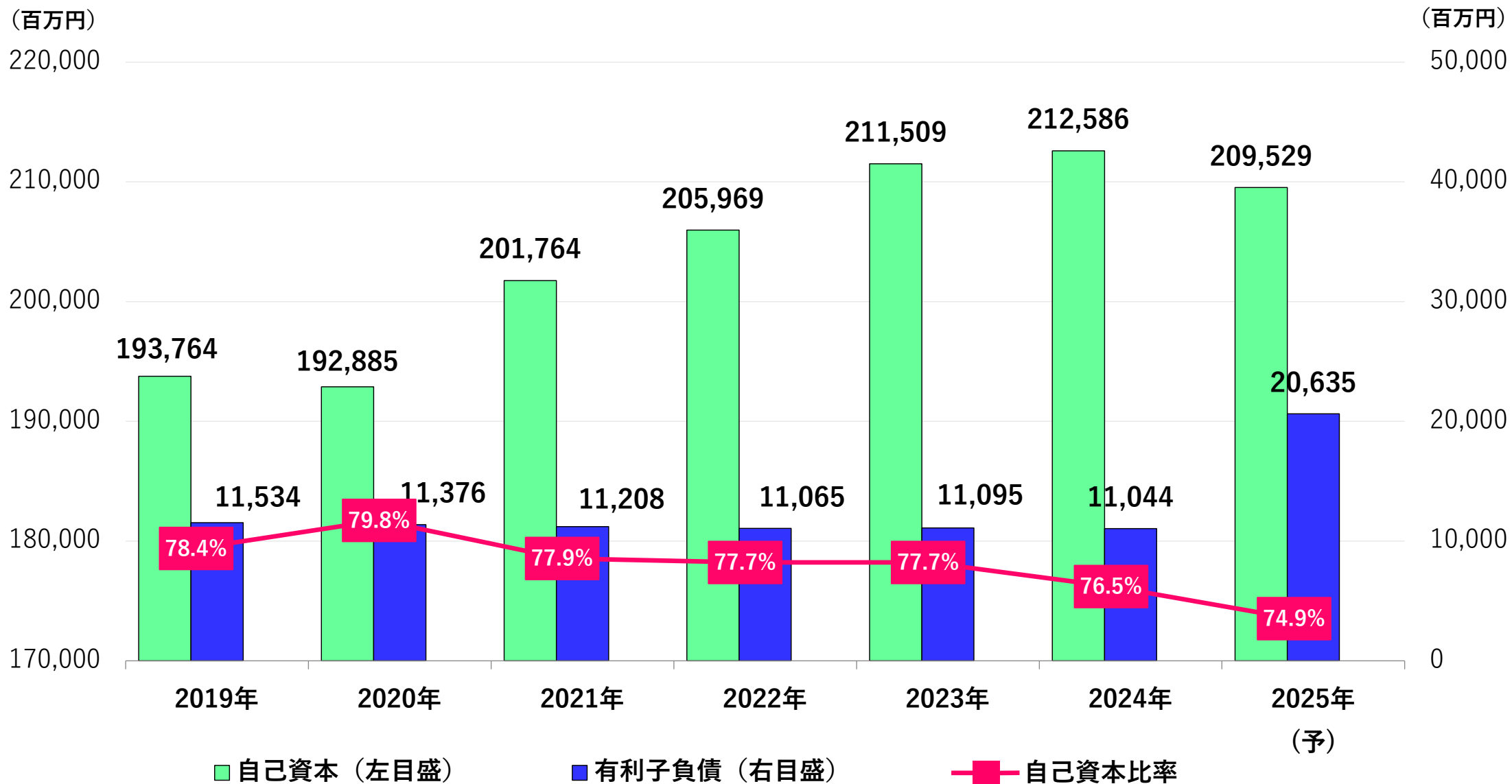
高機能材料事業 サブセグメント	売上増減率 (前年同期比)		売上高増減理由
	2025年 4-6月	2025年 1-6月	
無機機能材料	97%	101%	無機系消臭剤の販売数量が増加し、増収
高純度無機化学品	104%	97%	AI向けの旺盛な需要増加があったが、その他の回復が遅れたことにより販売数量が減少し、減収
新製品開発	200%	231%	アロンキュア（2024年9月販売開始）の販売により、増収



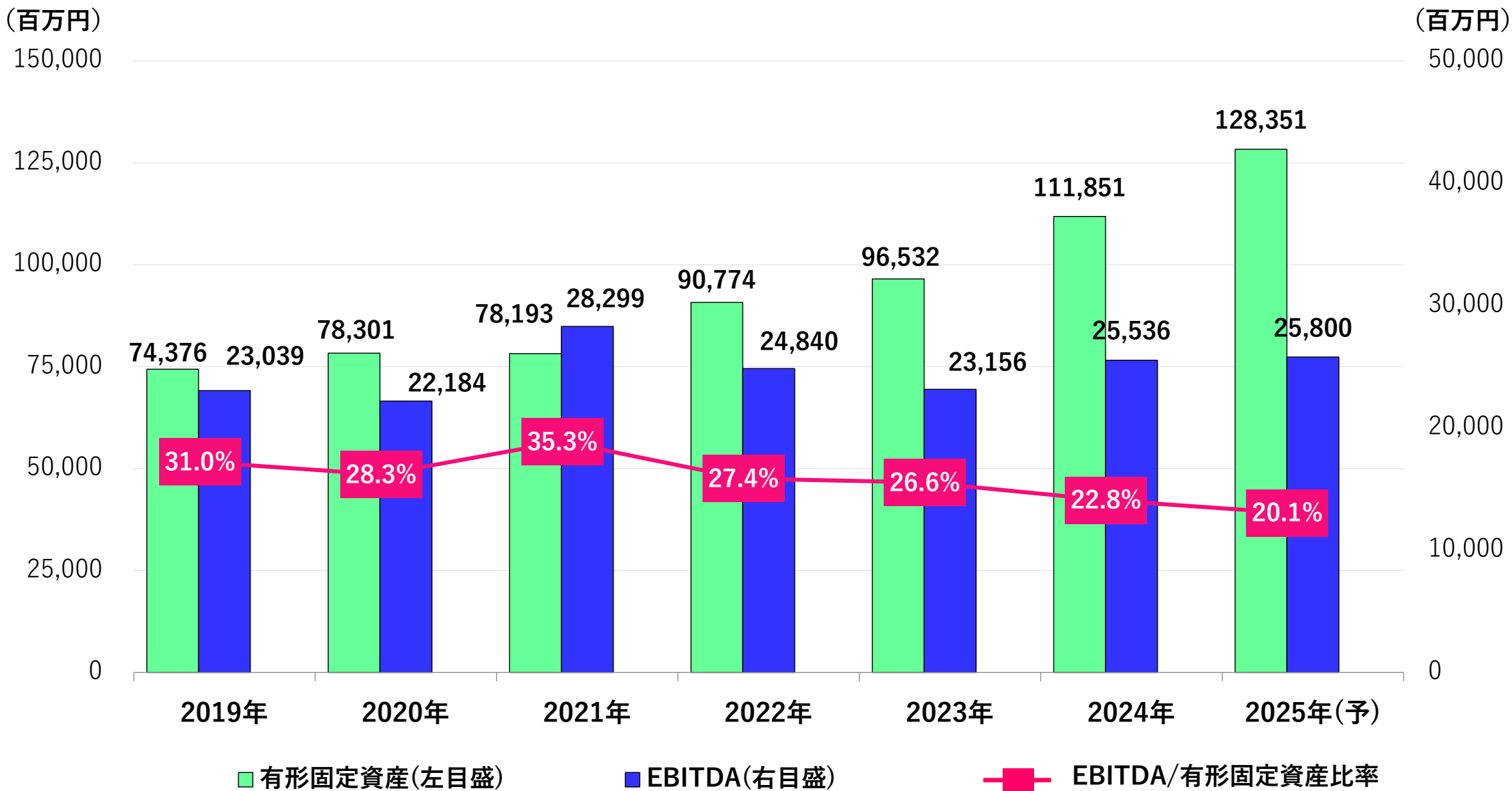
樹脂加工製品事業 サブセグメント	売上増減率 (前年同期比)		売上高増減理由
	2025年 4-6月	2025年 1-6月	
環境インフラシステム製品 (旧管工機材)	101%	107%	原材料価格等に応じた販売価格改定により、増収
ライフサポート	103%	98%	介護製品の需要低迷により販売数量が減少し、減収
エコマテリアル (旧エラストマーコンパウンド)	103%	108%	タイの拠点での販売数量の増加により、増収



連結経営参考数値の推移

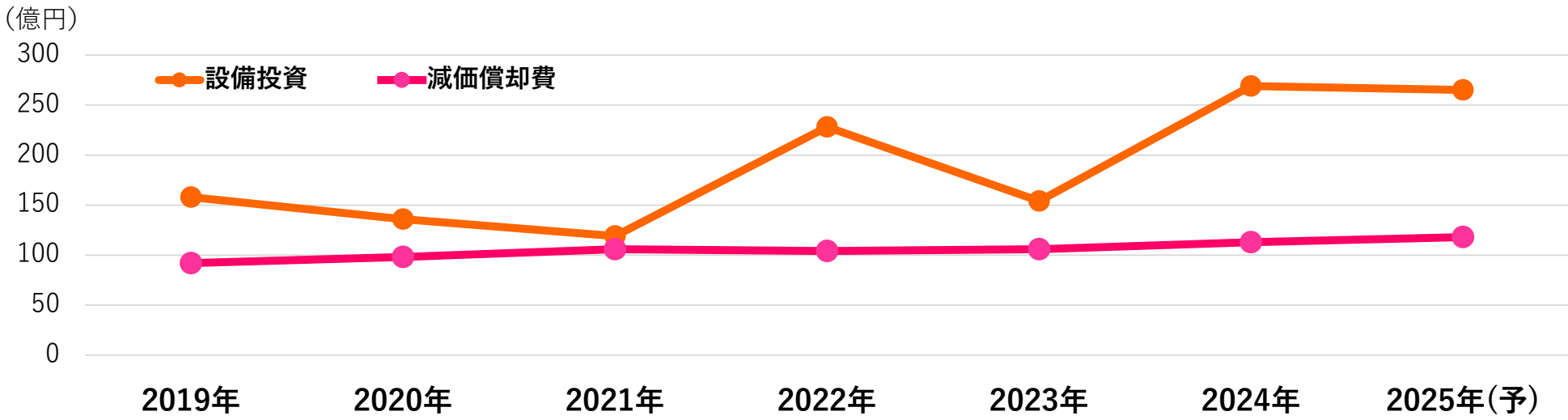


EBITDA/有形固定資産比率の推移



(億円)

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年(予想)
設備投資	158	136	119	228	154	269	283
減価償却費	92	98	106	104	106	113	118
研究開発費	37	40	43	47	50	58	64
海外売上高	226	221	290	310	266	289	299
海外売上高比率(%)	15.6	16.6	18.6	19.3	16.7	17.3	18.4
有利子負債	115	113	112	110	110	110	206



E (環境) S (社会)	2021年12月	「2050年カーボンニュートラル（実質ゼロ）」目標設定 ・2030年に2013年比50%削減（215千トン） ・2050年にカーボンニュートラル（実質ゼロ）
	2022年3月	横浜市と「ごみ焼却熱有効利用実現可能性調査に関する覚書」を締結 共同で調査を開始
	2022年4月	「東亜合成水素ステーション徳島」開所
	2022年10月	「東亜合成グループ人権方針」「東亜合成グループサステナブル調達ガイドライン」を策定
	2022年12月	内閣府、中小企業庁が推進する「パートナーシップ構築宣言」に賛同
	2023年1月	「従業員向け株式報酬制度」の導入、賃金改定4.0%引き上げ
	2023年4月	「2023年トルコ・シリア地震救援金」寄付 「シグナルペプチドーム研究」の社会連携講座を東京大学に設置 GXリーグに参画（2022年10月に賛同）
	2024年1月	賃金改定6.1%引上げ 「能登半島地震」寄付、グループ会社による製品供給支援。 ※アロン化成株式会社のトイレ用アタッチメント（2024年6月に経済産業省から感謝状を受領）。
	2024年3月	健康経営優良法人2024に認定（6年連続）
	2024年5月	「2024年台湾東部沖地震救援金」寄付
	2024年6月	愛知県知多市における低炭素水素モデルタウン事業化可能性調査へ参画
	2024年8月	小水力発電所建設開始（長野県）
	2024年9月	名古屋物流センター竣工。屋上でメガソーラー発電
	2024年10月	「能登半島大雨災害」寄付 横浜市と「ごみ焼却熱有効利用実証試験協定書」を締結し、実証設備着工
	2024年12月	「子供の未来応援基金」「一般財団法人あしなが育英会」寄付(2021年から継続)
	2025年1月	賃金改定6.4%引上げ、転勤猶予制度の導入
	2025年5月	大分工場で、ISCC PLUS認証（国際持続可能性カーボン認証）取得

G (ガバナンス)	2020年3月	取締役を対象に譲渡制限付株式報酬制度を導入
	2021年10月	「東亜合成グループ コーポレートガバナンス基本方針」改訂 ・ 政策保有株式の貸借対照表への計上額が連結純資産の 10%程度となることを目指にする ・ 英語開示の推進 決算短信の全文開示(2021年12月期～)
	2022年4月	東京証券取引所「プライム市場」への移行
	2022年8月	英語開示の推進 コーポレート・ガバナンス報告書の全文開示
	2023年8月	「PBR 改善に向けた取組み」を公表 ・ 2027 年に ROE 8 %を達成し、PBR1 倍超えを目指す ・ 期間総還元性向100%（2023～2025年）の株主還元実施。
	2025年6月	政策保有株式の縮減 2025年12月末に政策保有株式の貸借対照表への計上額が連結純資産の10%程度となることを目指。 2025年6月末現在 ： 13.8%（保有株残高29,027百万円） (2022年売却実績 9 銘柄 売却価額 3,058百万円) (2023年売却実績 13銘柄 売却価額 5,228百万円) (2024年売却実績 6銘柄 売却価額 5,373百万円) (2025年上期売却実績 1銘柄 売却価額 1,563百万円)

スポーツ振興への取組み



私たちは卓球「Tリーグ」を応援しています。



私たちは **IWAKI FC** を応援しています。



-
- 業績予想には、本資料の発表日現在入手可能な情報に基づく予想が含まれております。実際の業績は、今後さまざまな変動要因により、本資料の数値と異なる可能性があります。
 - 本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断で行われるようお願いいたします。